

## 令和7年第2回産業建設常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和7年3月13日（木曜日）			開会	9:56		会議場所	別海町議会 委員会室4		
				閉会	11:45					
委員の出欠	4 番	伊勢 徹	出席	5 番	貞宗 拓雄	出席	7 番	横田 保江	出席	
	11 番	今西 和雄	出席	12 番	松原 政勝	出席				
出席説明員	産業振興部	産業振興部長		産業振興部次長		農政課長		商工観光課長		
		佐々木栄典	出席	小野 武史	欠席	皆川 学	出席	掘込 美穂	出席	
		水産みどり課技術主幹		商工観光課主幹		農政課主査		農政課主査		
		古里 達也	出席	上杉 大洋	出席	金澤 亮太	欠席	山下 真弘	出席	
		農政課主事		水産みどり課主査		水産みどり課主査		商工観光課主査		
		徳永 将恭	出席	岩光 信幸	出席	池田 友和	出席	松本 芳樹	出席	
	建設水道部	建設水道部長		建設水道部次長		建設水道部次長		建築住宅課長		
		外石 昭博	出席	新堀 光行	出席	田畑 直樹	出席	廣島 静治	出席	
		事業課長		上下水道課技術長		管理課主幹		建築住宅課主幹		
		佐竹 和仁	出席	袴田 充輝	欠席	入田 浩明	出席	篠田 敬介	欠席	
		事業課主幹		事業課主幹		上下水道課主幹		上下水道課主幹		
		前道 陽司	出席	板垣 正博	出席	西田 和弘	出席	植松 拓也	出席	
		管理課主査		建築住宅課主査		建築住宅課主査		上下水道課主査		
	大滝 毅	出席	伊井 崇史	出席	志渡 正勝	出席	木村 洋平	出席		
	農業委員会	農業委員会事務局長		農業委員会主幹		農業委員会主幹				
		川畑 智明		大山 晋作		成瀬 広子				
	委員外の出席						合計	0名		
	事務局職員	局長	干場 富夫				合計	1名		
傍聴者数	議員	0名	報道関係者	0名		合計	0名			

# 令和7年第2回産業建設常任委員会 要点記録

## 会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 11番 今西	09:56 開会
	出席委員5名、欠席委員0名、委員外0名、会期1日 【建設水道部所管事務調査】
委員長 11番 今西	委員長挨拶
建設水道部 外石	・今定例会における付託事件はない。議案は条例の一部改正が3件、町道の路線認定及び廃止が1件の4件となる。議案は本会議において説明しているが、質問等あればお受けする。また、所管事務調査の「除雪について」及びその他の「建設工事等の発注状況について」を管理課長が説明する。
委員長 11番 今西	・議案等について何かあるか。
委員 一同	・特になし。
委員長 11番 今西	議事1 所管事務調査について
	(1) 除雪について
建設水道部次長 田畑	別紙資料に基づき今年度の除雪実績について説明。
委員長 11番 今西	質疑
委員 一同	・特になし。
委員長 11番 今西	議事2 その他について
	(1) 建設工事等の発注状況について
建設水道部次長 田畑	別紙資料に基づき説明。
委員長 11番 今西	・確認事項があればお受けする。
委員 4番 伊勢	・全国で下水道管等の老朽化により道路の陥没事故が発生している。別海町の上下水道管の現状と更新状況を伺う。
建設水道部 外石	・下水道管の関係だが、50年という耐用年数があるので、建設当初から更新は行っていない。また、水道管については、市街地は当初簡易水道事業で敷設を行っており、郊外地は公団事業で農業用水と合わせて整備している。そのほか、弱いとされている石綿セメント管については、市街地は全て更新済。現在は国営かんがい排水事業により、残りの60kmの更新を行っている状況。 塩化ビニール管については、耐用年数が40年となっており、過去に道営事業などで改修を行っている。そのときに改修できなかった部分については、今後国営事業で進めるが国営事業でも改修しきれなかった部分については、その手法を考えていかなければならない。
委員長 11番 今西	・ただいまの回答以外は、今後所管事務調査で調査する。ほかにあるか。
委員 12番 松原	・別海町には給水車はあるか。
建設水道部 外石	・別海町には給水車という専用の車両はないが、トラックに給水タンクを搭載して対応することとしている。
委員長 11番 今西	・ほかに何かあるか。
委員 一同	・特になし。
委員長 11番 今西	10:10 建設水道部終了 休憩
委員長 11番 今西	10:18 再開
	【産業振興部所管事務調査】
委員長 11番 今西	委員長挨拶
産業振興部長 佐々木	・今定例会における付託事件はない。今定例会に提出している議案及び新年度予算

## 令和7年第2回産業建設常任委員会 要点記録

		等について、何かお聞きしたい点等あればお答えする。 また、所管事務調査の「酪農振興対策について」は、12月開催の常任委員会において説明した、バイオマス産業都市構想の概要の案がまとまったので説明する。「中小企業等支援対策について」は、本年度実施している中小企業人材確保育成事業の実施状況について説明する。「ふるさと交流館について」は、アンケート調査の内容について説明する。その他として、「国営環境保全型かんがい排水事業肥培施設に係る調査報告について」、「別海町森林ビジョンについて」、「産業動向の概要について」それぞれ報告する。
委員長	11番 今西	・議案等について何かあるか。
委員	一同	・特になし。
委員長	11番 今西	議事1 所管事務調査について
		(2) 酪農振興対策について
農政課主査	山下	別紙資料に基づき内容説明
		・昨年の12月に開催された常任委員会において、「バイオマス産業都市構想」における素案の概要について説明したが、その後修正を加えたのでその内容について説明する。
委員長	11番 今西	質疑
委員長	11番 今西	・現在取り組んでいない農家の中で、バイオガスプラントに取り組みたい農家があるとの説明があったが、希望する農家の受入体制の整備について内容を伺う。
農政課長	皆川	・アンケート調査では7戸が利用したいとの意向だった。その旨を別海バイオガス発電に伝えており、農家と調整を図って利用に向けた協議を進めている。
委員長	11番 今西	・新たに施設を造って対応したい農家もあるとの説明だが、その部分の対応はどうなるのか。
農政課長	皆川	・今現在、町では検討はしていない。その方々については、本構想を策定する中で課題が見えてくると思うので、その課題に応じて対応していきたい。
委員長	11番 今西	・これは国や道の取組になると思うが、そういう事業の受皿を農政課が担っていく考えていいのか。
農政課長	皆川	・国・道の各種補助事業の申請窓口になるなど対応していきたい。
委員	12番 松原	・別海バイオガス発電では、当初計画では何十もの農家が糞尿を搬入して採算を取る内容だったと思うが、農家戸数は計画値まで到達していないのではないのか。
農政課長	皆川	・受入戸数は糞尿原料搬入が51戸で、それでできた消化液を利用している農家は74戸ぐらいある。糞尿搬入量が計画に達していないことから、戸数も足りていないと思っている。この施設は発電による売電収入が主な収入源なので、それらの状況から計画には届いていないと思っている。
委員	12番 松原	・バイオガスプラントまでの距離の問題から、運搬費用については町としてどう考えているか。
農政課長	皆川	・町としてもそこは課題だと考えていて、令和7年度当初予算で新たな制度を提案しており、それは運搬費用に対して助成するものとなっている。
委員	4番 伊勢	・運搬費は農家個々によって距離が違う。農家個々にバイオマスの機械を設置させるような方向にはならないか。
農政課長	皆川	・色々なメリット・デメリットがある。集中型は初期投資が少なく、労働力の軽減であったり原材料を持ち込めば製品となる。そのようなメリットがあるので、町としては今回運搬費に係る助成を提案し、距離が遠い農家の運搬コスト軽減を図る狙い。
委員	4番 伊勢	・施設の近隣農家は集中型施設に運搬し、それ以外は個別的施設を増やしていくなど柔軟な対応をしていくことが、有効と考えるが。

## 令和7年第2回産業建設常任委員会 要点記録

農政課長	皆川	・現在、構想を策定中だが、アンケートの中でも個別施設を希望している方がいるので、そのような方が施設を設置できるよう、どのように進めていくかが課題となる。例えば、町が補助をしてしまうと売電できなくなるというデメリットもある。施設のコストに対する補助を受けること、売電収入を得ること、どちらが取るのかといった課題もある。
委員長	11番 今西	・ほかに何かあるか。
委員	一同	・特になし。
委員長	11番 今西	(3) 中小企業等支援対策について
商工観光課主幹	上杉	・別紙資料に基づき内容説明
委員長	11番 今西	質疑
委員	4番 伊勢	・地域おこし協力隊推進事業について、募集をする所管部署はどこか。
商工観光課主幹	上杉	・今回の議会で機構改革の議案を提出しているが、それで担当部署が決まる。
委員	4番 伊勢	・商工観光課で予算措置するのか、それとも総務部で一括で予算計上するのか伺う。
商工観光課主幹	上杉	・全庁的な地域おこし協力隊の募集活動は総合政策課が担っている。今回商工観光課で計画している委託型2名及び雇成型1名の予算は、委託型の予算と雇成型の研修費などの諸経費は商工観光課で予算要求していて、雇成型の給与は一括して総務課人事厚生担当が予算要求している。
委員長	11番 今西	・地域おこし協力隊推進事業の関係で、資料に「協力隊の働き方として、商工会が持つ本来的な業務を専ら代替する人員ではない」と記載されているが、その意味を説明願う。
商工観光課主幹	上杉	・他の部署も同様だが、本来的に商工会職員がやらなければいけない業務は職員が担う。その人手の補充のために地域おこし協力隊を採用することは認められていない。
委員	4番 伊勢	・任期満了後の地域おこし協力隊についての考えを伺う。
商工観光課主幹	上杉	・商工会と協議した中では、基本的なゴールは商工会での採用と考えている。
委員長	11番 今西	・ほかに何かあるか。
委員	一同	・特になし。
委員長	11番 今西	(4) ふるさと交流館について
商工観光課主査	松本	別紙資料に基づき内容説明
委員長	11番 今西	・昨年11月7日に開催された産業建設常任委員会において、9月に実施した観光に関するアンケート調査の速報値を報告したが、その後集計内容を整理したので報告する。
委員長	11番 今西	質疑
委員	4番 伊勢	・ふるさと交流館の整備は、大変大きな事業になると思うが、所管の考えがあれば伺う。
産業振興部長	佐々木	・議会では町長の考え方も示され、地域活性化拠点再生構想は、ふるさと交流館周辺も含めてのものなので大規模な構想になると思う。所管としては、その構想をもとにふるさと交流館がどういった位置づけになるのかによると思っている。ふるさと交流館は従来から必要だということは説明しているし、場所的にも今の場所になる。ただ、今の施設を大規模改修するかなどの具体的なことについては、構想をもとに時間をかけて進めていきたい。
委員	5番 貞宗	・構想ができるまでは現在の入浴施設を運営するのか。また、仮に建替えるとなった場合に、現在の施設周辺に建替える町有地があるのか伺う。
商工観光課長	掘込	・現在、掘削している源泉のほかに、既存の源泉が使用できているので入浴施設の運営は続ける。仮に建物の改修等があった場合には、一時的に入浴施設を使用できないことも想定されるが、極力入浴機能は維持しつつ、源泉やポンプの工事を行っていく。 また、今ある施設の位置で施設改修等を考えているので、新たな町有地の取得は考えていない。
委員	5番 貞宗	・仮に、建替える場合は、今の施設を解体して建替えるのか、または新たな場所に建てる

## 令和7年第2回産業建設常任委員会 要点記録

		のか伺う。
産業振興部長	佐々木	・仮に新築する場合でも、現在の施設の駐車場等の土地もあるので十分だと思う。なお現在の温泉施設を解体してその跡地に新築することは想定していない。
委員長	11番 今西	・アンケート調査した内容も含めて進めていく考えでよいか。
商工観光課長	掘込	・アンケートの結果は現在策定している構想に生かしていく。また、施設の具体的内容を検討する中で、アンケートでも色々な具体的意見をいただいているので、生かせる部分は参考としていきたい。ふるさと交流館周辺に限らず、キャンプ場や観光の部分に対しても具体的なご意見もいただいているので検討していきたい。
委員長	11番 今西	・ほかに何かあるか。
委員	一同	・特になし。
委員長	11番 今西	議事2 その他について
		(2) 国営環境保全型かんがい排水事業肥培施設に係る調査報告について
農政課長	皆川	別紙資料に基づき説明
委員長	11番 今西	・確認事項があればお受けする。
委員	一同	・特になし。
委員長	11番 今西	(3) 別海町森林ビジョンについて
水産みどり課主査	池田	別紙資料に基づき説明
委員長	11番 今西	・確認事項があればお受けする。
委員	5番 貞宗	・町の森林環境の保全について、酪農家においては自己所有地の木を伐採し草地改良等するが、植樹や環境保全事業について、町だけではなく農協からも応援してもらう体制を取ってはいかがか。
水産みどり課技術主幹	古里	・その事業は、管理造成事業だと思うが、この事業をスタートしたときに各農協をとおして、各農家の意向を聞き取りした上で事業を実施している。この事業を進めるに当たっては各農協をとおして実施していきたい。
委員	12番 松原	・海岸線の植樹についての考えを伺う。
水産みどり課技術主幹	古里	・海岸付近には暴風保安林や海岸防災林などの別海町や北海道の森林がある。海岸線の森林の新たな造成については、個人所有の土地などに補助事業を活用しながら造林するよう推進していく。
委員長	11番 今西	・ほかに何かあるか。
委員	一同	・特になし。
委員長	11番 今西	(4) 産業の動向について
産業振興部長	佐々木	別紙資料に基づき説明
委員長	11番 今西	・確認事項があればお受けする。
委員	4番 伊勢	・令和5年度から令和6年度においては、酪農戸数は減っているが、乳量の増加と単価アップで実績が伸びている。令和7年度の状況を伺う。
産業振興部長	佐々木	・令和6年度の場合は、令和5年度に生産抑制が解除されたことから実績が伸びた。令和7年度については、資材の高騰などの影響はあるが、順調に推移すると見込んでいる。
委員長	11番 今西	・ほかに何かあるか。
委員	一同	・特になし。
委員長	11番 今西	閉会挨拶
委員長	11番 今西	11:45 閉会